

A・CITY内の 防犯パトロール実施

9月12日(土)夕方から自治会幹部役員で周辺のパトロールを実施しました。

先日から雨が続いていたので、裏山や遊歩道の点検も兼ね、約1時間かけて、ヒルズ周辺を回りました。傘を差して歩く中、山側斜面のアスファルトは滑りやすく注意が必要でした。

フォレスト住区の山側周辺は頻繁にイノシシが出没していました。現在は対策がされており、被害も少なくなっています。(詳細はA・CITYニュース先月号に掲載)

各住区の駐輪場も以前と比較して不要なものが無くなっており、整理されスッキリしていました。

それから各エントランスの郵便受けは、名前の記載が少ないことなどが気になりました。昨今プライバシーや個人情報問題もあり、なかなか難しいところですが、郵便物や管理組合・自治会からの各種案内を配布する際、名字だけでもあった方が助かります。こうして各住区を歩いてみると、様々な気付きや、課題などを共有できました。

現在、パトロールは住区単位での活動となっております。定期的にできていない状況ですが、今後は防災・防犯活動の一環として全体で実施できればと考えています。引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。



ふれあいバス専用の乗車コインができました

これまでに幾度かご紹介させていただき、ロコミなどで徐々に利用が増えている「大塚・伴地区ふれあいバス」。最近では、ボランティアスタッフも乗車しており、女性運転手の活躍など人気が高まっています。

このたび、大塚・伴南学区社会福祉協議会と生活交通支援協議会が、運行沿線の皆様に少しでも気楽にご利用いただけるよう、コイン式乗車券の導入を令和2年10月2日より開始しました。

1枚が運賃200円に相当し、ふれあいバスの車内で販売しています。

また、追加特典として、令和2年4月以降に運転免許を自主返納された方には、運転免許返納後3年間に限り、コイン乗車券購入時に割引が適用されます。

詳しくは、車内のボランティアスタッフにお尋ねください。



↑乗車コインの裏・表

A. CITYの行事予定

- 10月10日(土) 有価資源ごみ回収日
- 10月18日(日) 自治会定例役員会
- 10月24日(土) 有価資源ごみ回収日

- 10月25日(日) ヒルズ管理組合定期総会
- 10月25日(日) H&T管理組合定期総会
- 11月15日(日) A. CITY防災訓練

特殊詐欺に注意

新型コロナウイルス感染症流行に伴って、厚生労働省・市役所職員・警察官を装った給付金詐欺等の新しい特殊詐欺が増加しています。

今号では、広島県内で実際に発生した特殊詐欺を事例に、被害にあわない為のポイントと一緒に学んでいきましょう。

「ご注意ください！あなたの代わりに給付金手続きをします」の代行詐欺

令和2年5月に、広島市西区在住の女性宅（80代）に、広島市職員を名乗る男から、「**コロナの助成金（10万円）を振り込みます**」という内容の電話がありました。

その後続いて、金融機関の職員を名乗る男から「**区役所から連絡があったと思いますが**」という電話があり、「**口座が古い。口座番号を変えたほうがスムーズに振込できる**」
「**キャッシュカードを取りに行く**」

等のやりとりをした結果、その女性は、自宅を訪れた金融機関を名乗る男にキャッシュカード2枚を提出。結果として、合計200万円をそのカードで引き出されるという被害がありました。

↑トラブルを防ぐポイント！↓

○ 依頼していない「あなたの代わりに手続きします」は詐欺の可能性大。

○ 家の電話にはナンバーディスプレイを設定し、知らない電話番号には留守番電話で対応する。

○ 市区町村職員は、金銭に関わる直接の授受を絶対に行わないことを覚えておく

家電量販店店員になりましたアポ電詐欺が連続発生しています

令和2年9月4日から、家電量販店になりました詐欺電話（アポ電）がかかる事案が連続発生しています。電話の内容は、家電量販店の店員を名乗る者から、

「**あなた名義のクレジットカードで買い物している人がいる。**」
「**クレジットカードで買い物をしていないか。**」

などと電話がかかってくる。この後、犯人が自宅まで来て、通帳やキャッシュカード・クレジットカードをだまし取る手口です。

誰も1度は家電量販店で買い物をした経験があることや、店員からの電話ということで警戒が薄れることを狙った、新しいタイプの詐欺です。幸いこの詐欺は、いずれもご家族が



不審電話と気付いたことで、被害には至りませんでした。

しかし、今後も他のお宅に電話がかかる可能性がありますので、詐欺にあわないように十分注意してください。

↑トラブルを防ぐポイント！↓

○ 量販店店員のほか、公共インフラ（ガス・電気・水道）整備に関わる職員を装った詐欺も多発。少しでも違和感があれば、量販店・該当企業・警察に電話をかけるのが有効。

宅配業者・知人を装ったスマホ・携帯電話に届くショートメール詐欺

大手配送企業（ヤマト運輸・佐川急便・日本郵便等）または大手通販会社（Amazon・楽天等）の**不在通知を装ったショートメール**（スマホ・携帯電話の番号で送受信ができるメール機能）詐欺が多発しています。

この詐欺の特徴は、ショートメールの文面にURL（特定のインターネットサイトに接続できるアルファベットの羅列）が添付されており、そのURLをクリックすると、お手持ちのスマホや携帯電話に不正なアプリがダウンロードされる仕掛けとなっています。

アプリはダウンロードされただけであれば、すぐに被害に発展するこ

とはありませんが、スマホ内に保存されたこのアプリを何かのはずみでインストールしたり、返信してしま

うとスマホに保存されているメールの内容や、電話帳に登録した連絡先の内容が読み取られ、自動的に友人・知人に不意なメッセージが送られたり、身に覚えのない請求が届いたりする等の被害が起こります。

クリックひとつで簡単にダウンロードされ、本人の自覚なくメールが拡散。間接的に詐欺被害を起こす要因となりますので、注意が必要です。

↑トラブルを防ぐポイント！↓

○ 発信元の不明なショートメールはクリックしない。

○ 不審なメールが届いたら第三者に相談する。

SMS/MMS
9月5日(土) 17:31

お荷物のお届けにあがりましたが不在の為持ち帰りました。ご確認ください。 <http://txyxrmthop.duckdns.org>

おはようございます。

お元氣になさってますか。

久しぶりにお食事でも一緒にできればと思っていますのですが、来週は忙しいでしょうか？

↑ スマホに届いた詐欺メールの例

街の環境美化団体

「亀の会」活動だより

先月号で紹介した環境美化団体「亀の会」。おさらいしますと、この団体のメンバーは、全てA・CITYの住民で、町の緑地帯の手入れや公園の管理を、自治体や企業から有料で請け負っている、広島市内でも珍しい有償ボランティア団体です。

今号でも、続けて亀の会の活動をご紹介します。美しい町の「縁の下」の力持ちのメンバーは、初秋にどんな作業をしていたのでしょうか。

◆広島県アダプト制度活用による

河川周辺美観推進活動

みなさんは「アダプト」という言葉をご存じでしょうか。アダプトとは、英語で「養子縁組をする」という意味です。住民・企業等が主体となって清掃・草刈等の美化活動を中心に公共空間を「わが子のように面倒をみる」手法として制度化されたものを、一般的にアダプト制度と呼称し、国や多くの自治体で実施されています。

平成20年より広島県では「広島県アダプト制度」として、県が管理する道路及び河川の環境美化を推進する団体の募集を始めました。

当時、A・CITYのパレット東側に位置する調整池法面に、草木が生い茂り、荒れ放題であることを憂慮していた亀の会代表・飯田氏（イースト在住）は、この制度に着目。県に申請を行い、A・CITY調整池の管理を行う団体として、広島県西部建設事務所の審査を受けました。

平成21年3月にアダプト制度活用団体として承認された亀の会は、河川管理活動費として県から支給される奨励金を、A・CITY調整池の管理に全て投入し、雑木の伐採・法面の草刈・歩道と調整池の境界にフェンスを設置するなどの活動を行いました。奨励金を使用した整備作業が完了した後も、精力的に地元企業や社会福祉協議会と交渉を続けた亀の会。

平成26年から数年に及び、地元造園企業及び種苗生産農家から、調整池法面にレンギョウ・ユキヤナギ・アジサイ等の花木苗木合計1,000本余りの寄贈を受けました。

9月にはこの調整池の整備作業を行いました。7年以上になる調整池周辺の草刈作業も手慣れたものです。

ここ数年はパレット住区が花壇整備の際に、法面の草刈等を行ってくれるようになりました。アダプ

ト制度活用から10年。今ではこの調整池法面はA・CITYでも群を抜いて、花木が美しい法面になりました。



亀の会のメンバーである山下氏（ステージ在住）が挿し木で増やし、端正に手歩道沿いのアジサイは一見の価値があります。初夏にはぜひご覧ください。

◆自治会・管理組合協同開催

防災訓練

日程 令和2年11月15日（日）
場所 各住区指定場所

（当日館内放送にてご案内）

今回は、在宅避難を想定した物資受取り訓練です。ぜひご参加ください。

賛助会員より

メリィハウスよりお知らせ

メリィハウス西風新都内の4階フロアをリニューアルオープンしました！4階は、体力維持・体力アップを目指す皆様をお迎えするフロアです。

お困りごとにはコンシェルジュを配置し、快適な生活をご提供いたします。下記のお問合せ先まで、お気軽にご連絡ください。

【お問合せ】

フリーダイヤル：メリィの窓口

☎0120-4688-800

（※音声ガイダンスの後、②を押してください）



サルの目撃情報多発!

最近、下城ハイツからA. CITY周辺にかけて、サルの目撃情報が多く寄せられています。

数日前には、大塚中学校の生徒が10頭ほどのサルの群れに遭遇し、うち1頭に追いかけられたとの情報もありました。

万が一、サルの群れに遭遇した場合は、左記の行動をとるようにしましょう。

○近寄らない

○目を合わさない

○エサとなる食べ物を見せない・捨てない・与えない

(「野生サルに出会ったときに注意する点」広島県警察ホームページより)

また、ベランダなどに置き野菜などをしてる場合、サルの被害に遭うこともあるので、十分に注意ください。



↑ 2017年9月に現れたサル

(不定期連載) 管理組合だより

密着! 管理組合が行く!



分譲マンションに不可欠な組織である管理組合。居住者からお預かりした管理費や修繕積立金等の予算を適切に使用し、建物や環境の保全を図る重要な役割を担っています。今回は、管理組合の理事長や理事のみなさんたちが、どのような活動を行っているのか、自治会広報担当が、ある1日を密着取材してみました。あまり知られていない管理組合役員のお仕事を不定期で掲載いたします。

Vol.1 「理事長と副理事長、残地林を調査する」の巻

A.CITYヒルズのアーバン住区からフォレスト住区・ステージ住区の裏にかけて、「残地林」と呼んでいる1万㎡に及び山林があります。この山林はブナやコナラなどの落葉樹を中心に、アカマツ・ツバキ等の常緑樹が混生し、鳥類や昆虫も見られ、タラの芽や椎茸も採取できる自然豊かなA. CITY環境資源となっています。



ヒルズ管理組合 富永理事長



ヒルズ管理組合 今岡副理事長

その反面、定期的な間伐や草刈をしなければ、通風や採光が妨げられて、建物にコケやカビが付着して劣化が進むことや、不法投棄や不審者の遮蔽場所になり得るため、ヒルズ管理組合では、毎年この残地林の調査を行い、適切な間伐や倒木・支障木・危険木の撤去を実施しています。

本年はヒルズ管理組合の富永理事長(アーバン住区)と今岡副理事長(パレット住区)が、シルバーウィーク最終日に調査を決行。野村不動産パートナーズ(株)の竹尾マネージャーも同行し、3人で2時間以上かけて残地林を精査しました。この調査を業者任せにしないことで、毎年残地林の倒木・危険木の状態やイノシシの被害、急傾斜箇所の崩落状態等が住民目線で確認・検討され、安全な住環境の提供に役立っています。自然豊かなA.CITYならではの、いちばん体力を使う体を張ったお仕事ですが、今期も無事に業務完了です。富永さん、今岡さん、おつかれさまでした!



↑ 通行の支障になる枝をチェック



↑ 立ち枯れの高木を発見



↑ 台風による強風で倒木したエノキ